

中学校区におけるめざす子ども像
◎自らを律し、自ら学び続ける子 ◎自ら課題を見出し、解決する子 ◎互いを思いやり、認め合う子 ◎規則正しい生活と運動で、健康的な生活をおくる子

堺市立浜寺石津小学校

校長 廣瀬 努

令和8年度 重点目標 心身共に健康で、主体的に取り組む心豊かな子の育成
①人権を尊重した心の教育の推進 ②個別最適な学びの充実 ③信頼される学校作りの推進

「確かな学び」の現状(令和7年度全国学力調査・堺市学調結果より)
<知識・技能(基礎・基本)>
・国語の課題分野…(言語・情報の扱い方)の「漢字」「情報と情報の関連付け」、語句と語句の関係の表し方」
・算数の課題分野…「数の概念・位の概念」「割合でのもとにする量の理解」「小数の表し方や数の仕組み」「平行四辺形の作図」
・質問紙「分からない事や詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。」の項目において80.8%の肯定的回答があった一方、「自分と違う意見について考えることは楽しい」や「学習で分かった点や分らなかった点を次の学習につなげているか」に関しては否定的回答も多かった。

「豊かな心・健やかな体」の現状(令和7年度全国学力調査・堺市学調結果・学校評価アンケートより)
・全国学力調査質問紙「分からない事や詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。」の項目において80.8%の肯定的回答があった一方、「自分と違う意見について考えることは楽しい」や「学習で分かった点や分らなかった点を次の学習につなげているか」に関しては否定的回答も多かった。
・堺市学調質問紙で「近所の人に会った時にあいさつしている」と答えた児童の割合が45%にとどまっており、年々減少している。
・昨年度の学校評価アンケートで「体を動かして運動するところが好きだ」と答えた児童の割合は84%であったが、上体起こしやシャトルラン等で堺市平均を下回っており、柔軟性や持久力に課題がみられる。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	総合的な学力の育成	ICTを活用した授業改善を推進し、情報活用能力を育成する。	ICTインフルエンサーを中心に、児童用タブレットPCを用いた効果的な指導方法を研修・実践し、個別最適な学びの充実を図る。	「タブレットPCを使って学習を進めることができる」 児童80%以上	校内アンケート	10月2月					
		主体的に学ぶ児童を育成する。	●探究的な学習(学びのコンパス)を通して、わかる喜び・学ぶ楽しさを実感することができる授業に取り組む。	「自ら進んで調べ、学習している」 児童80%以上	校内アンケート	10月2月					
	基礎基本の定着	読む・書く・計算するなど基礎的基本的な力を育成する。	●「すいすい計算デー」「石津検定」等の取組を通して、思考力と表現力を支える基礎学力となる「計算力」を伸ばす。	3～6年生の単元終了後の評価テスト「知識・技能」の平均点を80点以上	各単元終了後の評価テスト	各単元終了後					
			「先生の好きな本の紹介」等の取組を通して、読書の回数・場面を増やし、新しい図書を充実させ、本を読む習慣を身につけさせる。	「本を読むことが好き」 児童70%以上	校内アンケート	10月2月					
			自学ノートやうちタブデーなどの家庭学習の課題を工夫し、学習習慣を身につけさせる。	「宿題は家で忘れずにしている」 児童90%以上	校内アンケート	10月2月					
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権教育を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。	●「いじめ防止の授業」や豊かな人権感覚を養うための「男女平等教育」に取組むことで、安心・安全な集団づくりを推進する。	「思いやりの心をもつことを、教えてもらっている」 児童90%以上	校内アンケート	10月2月					
			「みんなで確認しよう」や「クラスチャレンジ」の取組を通して、学校生活のルールを適宜確認し、基本的な生活習慣を身につけさせる。	「学校のルールを守っている」 児童90%以上	校内アンケート	10月2月					
			●あいさつ運動を年5回実施し、自分からあいさつできる児童を育成する。	「先生や友だち、地域の方に自分からあいさつしている」 児童80%以上	校内アンケート	10月2月					
			異年齢集団による交流(たてわり活動)を推進する。	「仲よくすることができたと感じる」 児童80%以上	校内アンケート	10月2月					
	健やかな体づくり	基本的な生活習慣を身につけさせる。運動に親しみ、体力を向上させ、体育の授業が好きな児童を増やす。	保健だよりや生活調べ週間等で早寝早起きの啓発を行い、基本的な生活習慣を整えるように取り組む。	3学期の生活調べで、児童の肯定的回答70%以上	校内アンケート	2月					
			●授業でのかけ足やなわとびタイム、石津ウォーミングアップ等に取り組み、児童の体力を向上させる。	「体を動かして、運動することは楽しい」 児童80%以上	校内アンケート	10月2月					
地域協働	開かれた学校	学校群教育目標である「心身ともに健康な子どもたちの主体性を育む」ため、地域と連携し、地域とともに歩む学校づくりを進める。	★学校の花壇などの環境整備、委員会活動、生活科(町たんけん)など様々な場面で地域の方の力を活用したり、地域の行事に積極的に参加したりすることにより、地域とともに歩む学校づくりを進める。	地域の方からご意見をお聞きする	学校協議委員会	2月					

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)